



地域づくり推進研修

令和元年5月14日（火）開催

生涯学習推進者実践講座

ぶらっと楽しむまちづくり

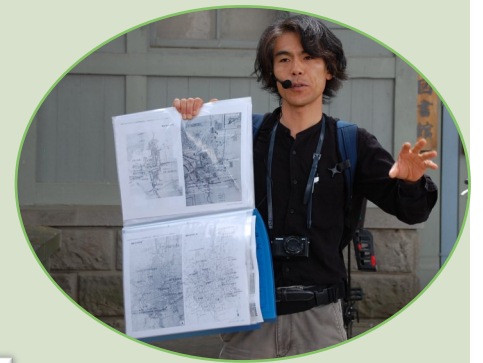
開催地:松本市

松本市あがたの森文化会館に集合し、はじめに講師から、「クラフトのまち」「工芸のまち」として松本が全国に知られるようになった経緯について説明を受けました。その後、街中へ向かう道筋には、「水のまち」とも言われるようにいくつもの井戸や水路があり、講師の案内で清流をたどりながら「まちなかトラベル」を満喫しました。松本のまちを散策することでその歴史を学ぶことにとどまらず、見過ごしがちな街路樹や看板にも目をとめて、まちの景観の保存や都市計画の重要性に気づかせていただきました。受講生からは、「自分の住むまちを見つめなおす機会となった」等の感想が寄せられました。
(受講者数 18名)

〈研修内容〉

講義 「工芸の街 松本を知ろう」 10:10~10:30
まちなかトラベル 10:30~15:20

講師 都市計画家 倉澤 聡 氏



大手門跡での説明。
四柱神社は堀を埋めてつくられた。



松本城天守閣を見ながらの説明。北アルプスとの眺望を守るためにマンションの高さを規制した。



江戸時代の城下町の一番端の道を見学。

受講者アンケートから

- 実際に街歩きをしながら、その町の良さを味わうことができ、日ごろ自分の暮らす足元の良い所を考えるよい機会となった。このような機会を異年齢でしかも子どもの頃から持つことがシチズンプライドの醸成に繋がると教えていただき、そのことに努めたいと感じました。
- 街づくりの観点に構造の部分を見ると、まち歩きがとても楽しくなると思います。今回参加して学びが楽しくできました。こんな講座を開催してみたい。
- 驚くほどの知見と経験と未来へのビジョンを兼ね備えた講師の先生のお話は、目からウロコのことばかりでした。大変考えさせられる視点ばかりでした。(社会教育委員)
- 具体的にそのものを見てその歴史や構造等を説明していただき興味深かった。このような視点から他のまちも見てみたいと思った。(学校教職員)
- まちあるき=人の流れをどうつくるか、いろいろなテーマを考える中で今後の課題としてとらえていきたいと思います。(市町村職員)